

一級自動車工学科、自動車整備科 自動車整備・カーボディマスター科 自動車整備・マスターメカニック科 自動車整備・トータルマスター科			2025年度 授業計画		
時 期	2年前期	単元	学科	教科名	エンジン整備2F
科 目	自動車整備	教科書等 持参品	2級自動車ガソリンエンジン 2級自動車ディーゼルエンジン		発行日
総時限	30時限		ガソリンエンジン構造		2025年3月22日
必須時限	28時限		ディーゼルエンジン構造		
			教科 担当	堀切 晶 石井 隆幸	
1. 指導教員の実務経験 該当 非該当					
自動車整備士として、エンジン整備の実務経験がある教員によりエンジンの構造・作動について指導する。					
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）					
1. 4ストローク1サイクル・エンジンの構造、作動を理解する。 2. ガソリン・エンジンの構造、作動を理解する。 3. ガソリン・エンジン電子制御の構造、作動を理解する。 4. ディーゼル・エンジンの構造、作動を理解する。					
3. 授業の到達目標（何を理解し何ができるようになるのか）					
1. ガソリン・エンジンの燃焼方式、性能、燃焼を説明できる。 2. 国家試験に係るバルブタイミングの問題の説明ができる。 3. レシプロ・エンジンの構造、機能を説明できる。 4. 潤滑装置の循環、制御、冷却を説明できる。 5. 冷却装置の電動ファン、電動ポンプの構造、作動を説明できる。 6. 電子制御式ガソリン、LPG燃料噴射装置の構造、作動、制御を説明できる。 7. ディーゼル・エンジンの燃焼方式、性能、燃焼を説明できる。 8. エンジン本体の構造、作動を説明できる。 9. 潤滑、冷却装置の構造、作動、制御を説明できる。					
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）					
・学科履修試験で評価する。学科履修試験は80分間で実施する。 ○×、選択肢、記述により100点満点で評価する ・合格点：60点以上 80点以上：優 60点以上：良（一級工学科70点以上） 60点未満：不可（一級工学科70点未満） ・不合格の場合、再試験を受験し、60点以上で合格とみなす。（一級工学科70点以上） 再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。 ・再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。					
5. 準備学習					
・「三級自動車ガソリンエンジン」を復習しておくこと ・「三級自動車ディーゼルエンジン」を復習しておくこと					

エンジン整備2F

[illegible]

一級自動車工学科、自動車整備科 自動車整備・カーボディマスター科 自動車整備・マスターメカニク科 自動車整備・トータルマスター科			2025年度 授業計画			
時 期	2年後期	単元	学科	教科名	エンジン整備2S	
科 目	自動車整備	教科書等 持参品	2級自動車ジーゼルエンジン ジーゼルエンジン構造		発行日	2025年3月22日
総時限	15時限				教科	堀切 晶
必須時限	14時限				担当	石井 隆幸
1. 指導教員の実務経験						
自動車整備士として、エンジン整備の実務経験がある教員によりエンジンの構造・作動について指導する。						
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）						
1. ジーゼル・エンジンの吸排気装置の構造、作動を理解する。						
2. ジーゼル・エンジンの点検、整備の考え方、方法を理解する。						
3. ジーゼル・エンジンの故障探求の考え方、方法を理解する。						
4. ジーゼル・エンジンの燃料装置の構造、作動を理解する。						
5. ジーゼルエンジンの電気装置、予熱装置の構造、作動を理解する。						
3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）						
1. ジーゼル・エンジンの吸排気装置の構造、作動、制御を説明できる。						
2. ガソリン・エンジンの点検、整備の考え方、方法を説明できる。						
3. ジーゼル・エンジンの故障探求の考え方、方法を説明できる。						
4. ジーゼル・エンジンの燃料装置の構造、作動、制御を説明できる。						
5. ジーゼルエンジンの電気装置、予熱装置の構造、作動、制御を説明できる。						
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）						
・学科履修試験で評価する。学科履修試験は80分間で実施する。						
○×、選択肢、記述により100点満点で評価する						
・合格点：60点以上						
80点以上：優 60点以上：良（一級工学科70点以上） 60点未満：不可（一級工学科70点未満）						
・不合格の場合、再試験を受験し、60点以上で合格とみなす。（一級工学科70点以上）						
再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。						
・再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。						
5. 準備学習						
・「三級自動車ジーゼルエンジン」を復習しておくこと						

一級自動車工学科、自動車整備科
自動車整備・カーボディマスター科
自動車整備・マスターメカニック科
自動車整備・トータルマスター科

2025年度 授業計画

[illegible]